

令和元年度 第2回 練馬区区政改革推進会議

## 区立施設の維持・更新 現状と課題

令和元年11月6日

企画部企画課

- (1) 区立施設の維持・更新にあたって
- (2) 区立施設の現状
- (3) これまでの主な取組
- (4) 取組を進めるうえでの顕在化した課題
- (5) 今後検討が必要と考えている施設(例)
- (6) 勤労者福祉施設
- (7) 青少年館
- (8) 論点

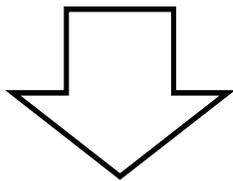
## ( 1 ) 区立施設の維持・更新にあたって

---

区立施設の維持・更新にあたっては、つぎの2つの視点から見直しが必要

サービスの充実を図るため、行政より民間が提供することが望ましい施設

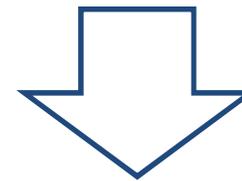
- ・保育園
- ・介護保険施設
- ・障害者福祉施設 等



委託・民営化を進める  
(第1回区政改革推進会議のテーマ)

社会状況の変化にあわせて、施設のあり方を見直す必要がある施設

- ・勤労者福祉施設
- ・子どもや青少年の施設
- ・高齢者福祉施設 等



現在・将来の区民ニーズを考慮して  
施設のあり方を見直し  
(今回の区政改革推進会議のテーマ)

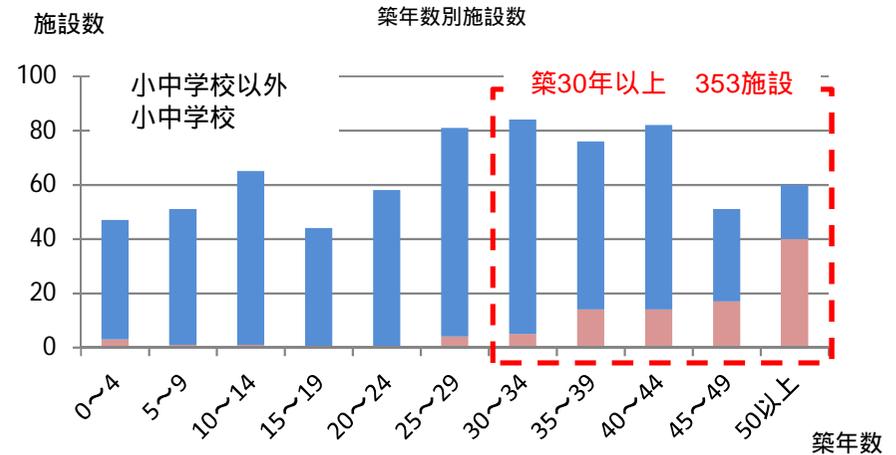
## (2) 区立施設の現状

区は700を超える施設を保有

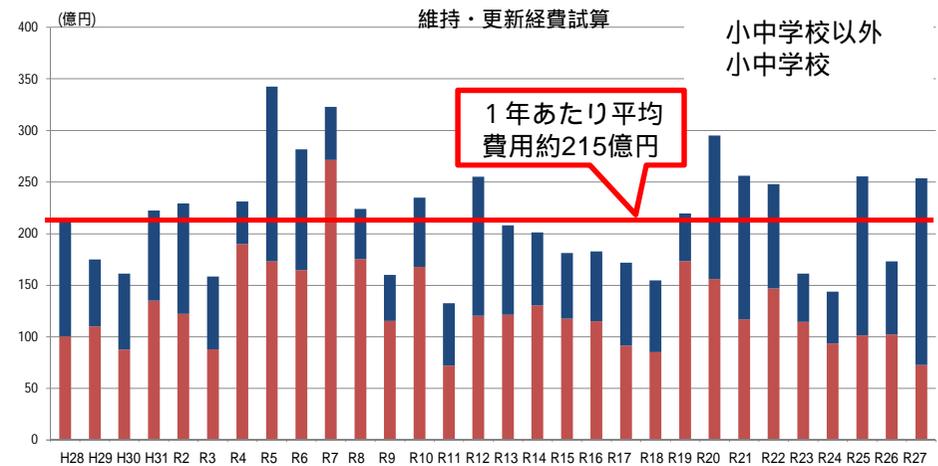
H27年度末現在

施設種別	施設数	総延床面積(m <sup>2</sup> )
小中学校	99	647,653
庁舎等	7	72,254
子どもと青少年の施設	201	68,250
区営住宅	22	63,009
文化・生涯学習施設	24	49,465
スポーツ施設	23	41,106
地域の施設	49	35,348
小中学校以外の教育施設	13	33,046
高齢者福祉施設	27	26,881
障害者福祉施設	23	22,127
産業振興・勤労者福祉施設、集会施設	8	12,667
清掃関連施設	6	12,071
保健相談所	6	8,111
区民事務所、出張所	15	6,513
リサイクルセンター	4	3,526
土木出張所、公園出張所	5	1,961
総合福祉事務所	2	1,382
その他の施設	171	103,486
<b>施設合計</b>	<b>705</b>	<b>1,208,858</b>

築30年以上の施設が353施設、総床面積の約7割



・今後30年間の改修・改築経費の試算では、1年あたり平均215億円が必要。H18~27年度の10年間の平均52億円を大きく上まわり、これまでどおりの維持・更新が困難。



出典：練馬区公共施設等総合管理計画

### ( 3 ) これまでの主な取組

---

## 平成27年度 区政改革推進会議で議論・提言

### 区立施設の維持・更新の留意点

区立施設の必要性	...	そもそも施設が必要なのか根本から検討すべき、敬老館等に浴室は必要か検討すべき 等
統廃合・再編・複合化	...	統合・再編・廃止を優先順位をつけて実施すべき 等
地域施設の活用	...	敬老館など、世代別に施設を分けるのではなく、世代に関係なく使える施設とすべき 等
学校施設	...	適正配置、区民利用を推進すべき



## 平成29年 3 月 練馬区公共施設等総合管理計画の策定

### 施設配置の最適化の方針

機能転換	...	社会状況等の変化を踏まえ、優先度が高い機能への転換
統合・再編	...	同種、類似の施設の統合・再編
複合化	...	複数の機能を一つの施設へ集約

### ( 3 ) これまでの主な取組

#### 出張所の廃止と別機能への転換

需要が低くなった出張所を廃止し、新たな行政需要に応える機能へ転換

#### 主な機能転換

出張所名	転換後の機能
桜台、第三、谷原、大泉西	街かどケアカフェ
桜台、第三、谷原、大泉西、第八、大泉北	地域包括支援センター
第八、上石神井	図書館資料受取窓口

#### ( 区民の反対の声 )

- ・住民票がとれなくなる。廃止に反対。
- ・地域包括支援センターは必要ない。自分たちが使用できる貸出施設にして欲しい。

#### 高野台運動場用地における病院と福祉園の整備

- ・高野台運動場を廃止し、優先度の高い機能へと転換
- ・病院の誘致、近隣の石神井町福祉園移転
- ・福祉園の跡地活用

- ・200床程度の病院誘致 ( R 3 予定 )
- ・民設民営の福祉園の整備 ( R 4 予定 )
- ・福祉園が移転した後に重度障害者グループホームを整備 ( R 3 運営事業者選定予定 )

#### ( 区民の反対の声 )

- ・テニスコートを頻繁に利用している。需要が低いとは思えない。廃止に反対。

#### 北保健相談所移転と周辺施設の集約

- ・駅から遠い北保健相談所を駅近くに移転
- ・老朽化している近隣の児童館・敬老館を複合化し機能転換
- ・保健相談所の跡施設、児童館等の跡地を活用

- ・平和台駅の近くに用地確保
- ・北保健相談所を移転 ( R 3 予定 )
- ・児童館と地域包括支援センター、街かどケアカフェを複合化
- ・敬老館 ( 敬老風呂 ) の廃止
- ・児童館等の跡地の活用を検討中

#### ( 区民の反対の声 )

- ・高齢者が自宅で一人での入浴は危険。風呂の廃止は反対。
- ・施設が遠くなる。高齢者には辛い。移転に反対。

## ( 4 ) 取組を進めるうえでの顕在化した課題

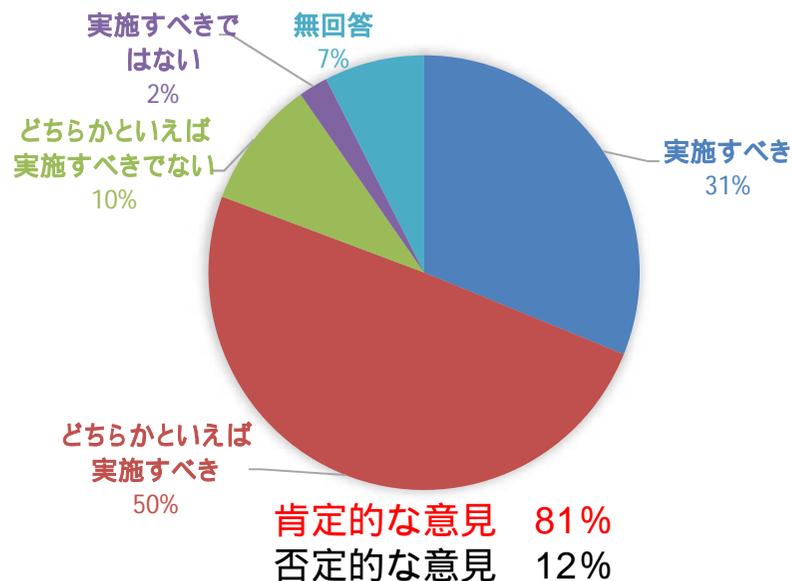
総論は賛成でも、利用施設の見直しには反対

見直しには約 8 割の方が肯定的（平成27年度区民意識意向調査結果）だが、身近な施設、利用している施設の機能転換、移転等は反対。財政状況、利用率、老朽化、維持更新経費、次世代への負担などデータを示しても、なかなか理解が得られない。

ほとんどの施設は、区民の一部しか利用していない。区民全体の視点で見直しを考えていくにはどうしたら良いか。

### 【参考】平成27年度区民意識意向調査結果

公共施設の老朽化問題へ対応するため、施設や機能の複合化・共用化により、段階的に施設数を減らすことについて、どのように考えますか。



過去 1 年間で利用した区立施設の中で、利用回数が多かった施設を 3 つ選んでください。

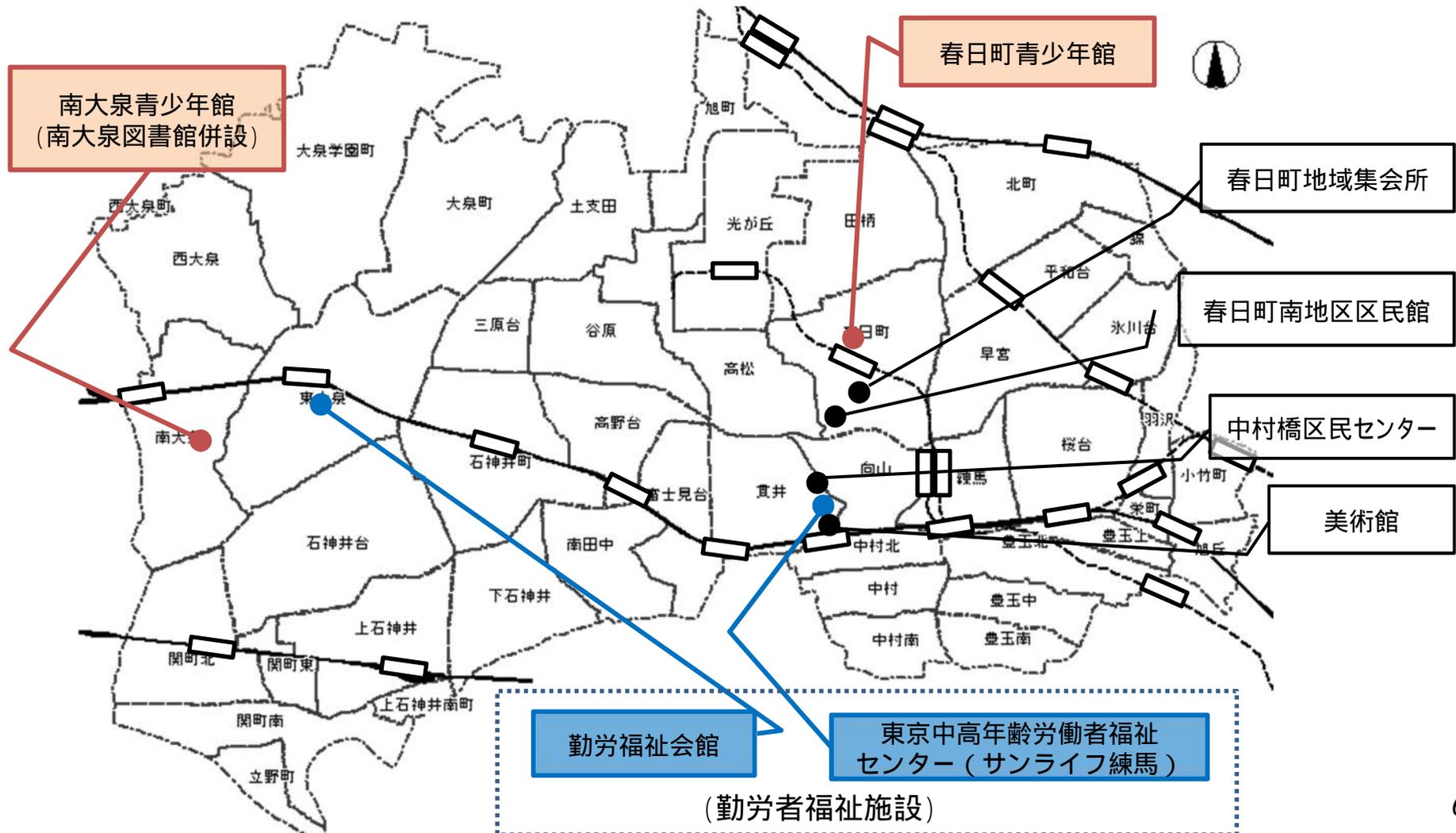
施設名	利用した区民の割合	施設名	利用した区民の割合
庁舎等	63.8%	総合福祉事務所	6.4%
図書館	40.7%	児童館等	4.1%
体育館・庭球場等	18.2%	区民ホール	3.4%
保健相談所	10.6%	子育てのひろば等	2.3%
地区区民館等	9.4%	敬老館等	1.7%
文化センター等	9.1%	青少年館	0.8%
美術館等	6.9%	利用なし	7.7%
リサイクルセンター	6.8%	無回答	2.4%

## (5) 今後検討が必要と考えている施設(例)

設置当時とは社会状況が変化し、機能の見直しが必要ではないか



特定の対象者のために設置した施設(勤労者福祉施設・青少年館)



## ( 6 ) 勤労者福祉施設 概要と現状

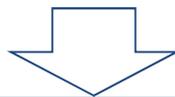
施設名 (延床面積)	東京中高年齢労働者福祉センター 〔サンライフ練馬〕(2,471㎡)	勤労福祉会館(2,077㎡)
場所	西武池袋線中村橋駅徒歩3分	西武池袋線大泉学園駅徒歩3分
設置年	昭和56年(築38年)	昭和60年(築34年)
設置目的	中高年齢労働者の雇用の促進と福祉の向上を図ること	中小企業に働く勤労者の文化・教養および福祉の向上を図ること
主な事業	(1) 職業相談、職業情報の提供等に関する事業 ・従業員対象の労働相談 81件 (2) 心身の健康保持、教養等に関する事業 ・ボディーコントロール体操、絵手紙教室等開催(H30実績:延1,341人参加) ・体育室・トレーニング室の貸出 (3) 貸館事業	(1) 勤労者の文化・教養に関する事業 ・従業員対象の労働相談 55件 ・簿記教室、労働法、労務管理実務講習会等開催(H30実績:延5,527人参加) (2) 勤労者の健康の維持増進に関する事業 ・トレーニング室の貸出 (3) 貸館事業
主な施設	職業相談室、職業講習室、研修室、クラブ室、和室、会議室、体育室、トレーニング室	集会室、会議室、和室、職業講習室兼会議室、音楽室、料理室、トレーニング室
施設の稼働率	H30年度実績 50%	H30年度実績 66%
施設の団体別利用状況	<p>公用利用 2% 減額・免除団体 49% 一般団体 49%</p>	<p>公用利用 5% 減額・免除団体 52% 一般団体 43%</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">減額・免除団体 = 主に構成員が10名以上で、65歳以上が半数以上の団体</div>		

## ( 6 ) 勤労者福祉施設 課題

### 【課題】

2 施設とも65歳以上の利用が多く、勤労者中心の施設とは言えない状況である。労働相談など、今後も区が担うべき事業については継続しつつ、施設としては、社会状況の変化や区民ニーズを考慮しながら、勤労者中心の施設から別の機能への転換が必要ではないか（勤労者福祉施設は23区中15区が設置、2つあるのは練馬区のみ。廃止している区もあり）。

勤労者福祉施設の位置づけを無くす場合、勤労者の健康増進のために設置しているトレーニング室等は、今後も必要か。駅に近い立地条件を生かし、より優先度が高い機能へ転換すべきではないか（勤労福祉会館の開設以降、区立体育館を5か所開設している）。



### 【今後の取組】

- ・ サンライフ練馬 ... 勤労者福祉施設としての機能を見直し、隣接する美術館のリニューアル（拡張）にあわせて、機能転換を検討する。
- ・ 勤労福祉会館 ... サンライフ練馬と同様に機能を見直し、大規模改修にあわせて、必要な機能は継続しつつ、優先度の高い機能（地域包括支援センターなど）への転換を検討する。

## (7) 青少年館 概要と現状

施設名 (延床面積)	春日町青少年館 (1,891㎡)	南大泉青少年館 (595㎡)
場所	大江戸線練馬春日町駅徒歩3分	西武池袋線保谷駅徒歩15分 (南大泉図書館併設)
設置年	昭和45年(築49年)	平成5年(築26年)
設置目的	青少年(小学生以上30歳以下)の健全育成を図ること	
主な事業	(1) 青少年のための各種講座、講習、教室等の開設 (2) 青少年のための体育およびレクリエーションの実施 (3) 貸館事業 <span style="float: right;">} 事業実績：次ページのとおり</span>	
	春日町青少年館内に「若者サポートステーション(1)」を設置 1...就業・就学等をしてない青少年の職業生活における自立を支援する施設	
主な施設	会議室、料理室、和室、実習室、教室、レクホール、多目的室、学習室、談話室	和室、教室、レクホール、音楽練習室
施設の稼働率	H30年度実績...66%	H30年度実績...67%
施設の団体別利用状況	<p>公用利用 32% 青少年団体 35% 一般団体 33%</p>	<p>公用利用 17% 青少年団体 11% 一般団体 72%</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">一般団体 = 青少年以外の団体</div>	

## (7) 青少年館 主な事業

### (1) 青少年のための各種講座、講習、教室等の開設

事業名	対象	H30年度実績
文化・教養講座		
ギター教室 (春日町)	青少年～ 40歳	7回 延89人
ヤングダンス教室 (春日町)	中1～30歳	20回 延254人
ミニライブ (春日町)	青少年	2回 75人
ウインドアンサンブルライブ (春日町)	中・高生 社会人	1回 302人
和風づくり教室 (南大泉)	小学生	1回 5人
いきもの観察会 (春日町・南大泉)	青少年	2回 55人
演劇活動		
児童劇団 (春日町)	小4～20歳	団員46名 公演 2回 956人来場
児童劇教室 (春日町)	小3～中3	5回 延173人
心身障害者青年学級 (春日町)	15歳以上の知的障害者、肢体不自由者 4学級 在籍186人 月1回開催	
野外講座 (春日町)	小3～中3	長野県上田市2泊3日 1回 40人

### (2) 青少年のための体育およびレクリエーションの実施

事業名(実施館)	対象	H30年度実績
スポーツ講座		
子ども体操講座 (春日町・南大泉)	小1～小3	4回 延318人
子ども卓球教室 (南大泉)	小中学生	25回 延293人
親子卓球教室 (南大泉)	小中学生 親子	25回 延276人
けん玉教室 (南大泉)	小中学生	11回 延226人
文化祭		
青少年館まつり (春日町)		1回 553人参加
バレーボール大会 (春日町)	館利用の 団体	1回 8団体参加
サークル合同発表会 (春日町)	館利用の 団体	1回 11団体参加
開放事業 (春日町・南大泉)	卓球、バドミントン開放 85回 延930人 レクホール開放 11回 延157人 学習室、談話室開放 開館日 延17,269人 和室開放(将棋) 27回 延199人	

○ 対象が小中高生のもの

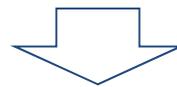
## (7) 青少年館 課題

### 【課題】

青少年館と同様に**児童館（17館）も小中高生を対象とした事業を実施**している。ねりっこクラブ（ 1 ）の実施により、小学生の居場所が学校中心になる中で、児童館は中高校生を対象とした事業の充実に取り組んでいる。**青少年館と児童館の事業の整理・役割分担が必要**ではないか。

1 小学校の敷地内で、放課後や長期休業中に安全に過ごせる居場所

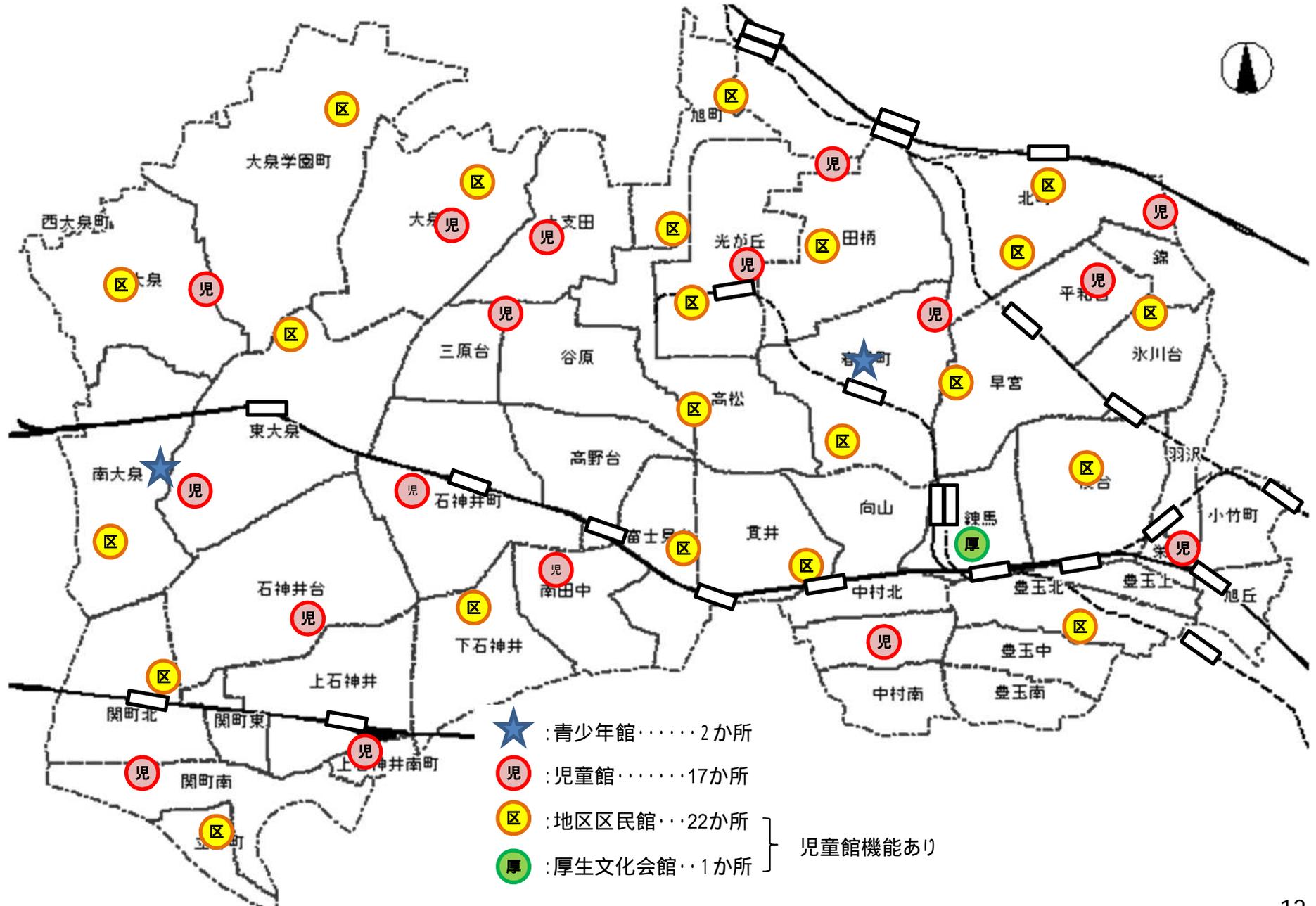
19歳以上の年代に対して、対象者を限定しない生涯学習センター、体育館等がある。引き続き**青少年を対象とした施設として運営**する必要性は低下している（青年館は23区中5区が設置）。区が実施すべき事業については継続しつつ、施設としては、「若者サポートステーション」のように、ひきこもりの支援の充実を図るなど、区民ニーズを踏まえた**機能転換が必要**ではないか。



### 【今後の取組】

- ・春日町青少年館 ... 施設の老朽化が進行している。児童館との役割分担や青少年館のあり方等を整理したうえで、近隣の地域集会所等の集約等を含めた改修・改築を検討する。
- ・南大泉青少年館 ... 春日町青少年館と同様にあり方等を整理し、機能転換等を検討する。

【参考】青少年館、児童館、地区区民館、厚生文化会館の配置図



廃止や移転、機能転換に対して区民の理解をどのように得ていくか。

どの区立施設にも、利用者があり、施設の廃止や移転、機能転換に対して、理解を得るのが難しい。他の代替可能な施設の紹介や、区立施設全体の将来を含めた課題などを、データや根拠を示しながら説明しているが、他に良い方法があるか。

勤労者福祉施設、青少年館について、今後も必要か。

設置当初とは、中学・高校を卒業して就職する割合の低下、企業の福利厚生に対する取組の充実、生涯学習センターや体育館等の公共施設の整備など、勤労者や青少年を取り巻く環境が大きく変化している。設置目的と利用の実態があわなくなっている勤労者福祉施設、青少年館は、施設のあり方を見直すべきではないか。